



『ほ・ろ・か』カードで地域を活性化！

No.1

『ほ・ろ・か』カードが小規模企業白書に紹介・4/24

4月24日に閣議決定された「令和2年度小規模企業施策」(小規模企業白書)に具体的な取り組み事例として東城町商工会が行う『ほ・ろ・か』カード事業が紹介されました。

平成31年4月から開始した同カードは、東城町内の加盟店で使用することができる、キャッシュレス機能付きのポイントカードです。

加えて、児童が登下校や児童クラブに到着した際、設置されているカードリーダーにカードをかざしたときや、高齢者などが一週間から10日間カードを利用しなかったときに、あらかじめ登録している保護者・家族などのアドレスへメールが送信される「見守り機能」を備えています。

そのほか、観光客の町内での消費を促す観光客用のカードも用意されているなど、人と地域をつなぐ重要なアイテムと紹介されました。

同商工会の後藤茂行会長は「地域活性化への取り組みは今後も必要で、地域の住民や事業者が元気であり続けるまちづくりに、引き続き貢献していきたい」と話していました。



▲下校時にカードリーダーにタッチ

紙おむつ自動販売機が新登場！

No.3

道の駅たかの・4/20

道の駅たかののに、紙おむつ自動販売機が設置されました。

国土交通省は、平成30年度に「サービスエリアや道の駅における子育て応援の今後の取組方針」を取りまとめました。同自動販売機はこの方針の一環として設置されたもので、中国地方の道の駅では初の導入です。旅行の途中で乳幼児の紙おむつが足りなくなったときや、災害時などに活用することができます。

道の駅たかのの広報担当宮口佳祐さんは、「紙おむつ自動販売機は、取り出し口を飲料と別にするなど、製作メーカーもいろいろと工夫している。子育て世代の皆さんが、子どもと一緒に安心して尾道松江道を利用できればうれしい」と話していました。



▲飲料と一緒に陳列されている紙おむつ(各列右側)

大きく育ってくれることを願って

No.2

うなぎの放流・4/30

毎年、総領町の田総川を中心に、田総川漁業協同組合による、うなぎの放流が行われています。

今年は、放課後子供教室の児童6人が、総領保健福祉センター前の川辺で、放流に参加しました。

うなぎは夜行性で岩の陰に隠れる習性があるため、大きな石を置いてやるなど、たくさんの稚魚を丁寧に放流していきました。

放流したうなぎは、鳥などの天敵から身を守りながら、数年をかけて成長していきます。

参加した児童は「たくさんのうなぎが大きく育ってくれるのを楽しみにしている」と話していました。



▲うなぎを放流する児童